

広島発・瀬戸内海美化大作戦

事業概要

私たちは、海・山・川などの自然から、暮らしに欠かせないさまざまな恩恵を受けている。広島県は瀬戸内海に面していることから、瀬戸内海をキーワードに次世代に住みよい環境を残すこと、継続して自然の恩恵を享受できる環境を維持することを目的に「広島発・瀬戸内海美化大作戦」を実施する。この事業は、公衛協で環境保全に係る実践活動を実践し、また活動場所ごとの活動記録を蓄積し、広く住民に公表することで、公衛協の認知度を高める。

事業の内容

活動テーマと活動例と支援グッズ

活動範囲は、各公衛協（市町・支部・地区・学区エリア内）における海・川・里山・山林など。公衛協が主体となった環境づくり活動の充実、瀬戸内海をはじめとした水に関する関心度の向上、環境・健康募金への理解が広がる効果が上げられるように、3つのテーマで活動を展開する。

テーマ	地域清掃・美化	水質改善・水質保全	里地・里山づくり
主な活動(例)	○定期的な清掃活動 (概ね2カ月に1回以上) ○花いっぱい運動	○水辺教室 ○三角コーナーの水切りや廃食用油からせっけんづくりなど ○水に関する学習会の開催(瀬戸内海、河川、生活排水など)	○不法投棄ごみ撲滅運動 ○竹の伐採や活用(竹炭づくりなど) ○下草刈り、間伐
支援グッズ	○アドプトサイン(公共区間の定期的な清掃美化活動:1枚) ○一斉清掃ののぼり(5枚)	○瀬戸内海に関する学習テキスト(人数分) ○油吸着剤(人数分) ○簡易測定キットpH・COD(各1キット)	○不法投棄ごみ撲滅運動のぼり(5枚) ○マグネットステッカー(3枚)

平成25年度の実績

【廿日市市公衆衛生推進協議会】

事業名：廿日市をきれいにする会との共催清掃作業
テーマ：地域清掃・美化
開催場所：廿日市駅周辺
参加者：60人
成果：ごみ袋(45リットル)30個分のごみ

山陽女学園(サッカー部・バレー部)、廿日市高校(ソフトボール部・バレー部他)、警察OB、JR廿日市駅、中国醸造などが参加し、毎月第1木曜日に駅周辺のごみ拾いを実施している。実施回数を重ねるごとに賛同者が増え、活動範囲が拡大している。

支援グッズののぼりの余白に参加団体名を書き加え、参加者の意識向上を図った。参加した高校生からは、「分別の理解が深まった」「すっきりして達成感を味わえる」などの感想が寄せられている。



【府中町公衆衛生推進協議会】

事業名：「水を学ぼう！」
テーマ：水質改善・水質保全
開催場所：府中つばき祭り(空城山公園)
参加者：111人
成果：来場者への意識の啓発

つばき祭りの公衛協ブースにて、「水の学習会」を実施。町内の川にすむ生物や鳥などの紹介や、公衛協で実施している水辺教室の結果報告、川や海を守るためにできることなどの情報を発信した。

参加者には、感想や今後の取り組み宣言をカードに記入してもらい、ボードに貼り付けていった。

支援グッズの油吸着剤はカード記入者に配布し、使用済み油の適切な処理を呼びかけた。



平成25年度の実績(続き)

事業に参加した市町公衛協数 **14**市町公衛協

実施された事業の回数 合計 **58**回

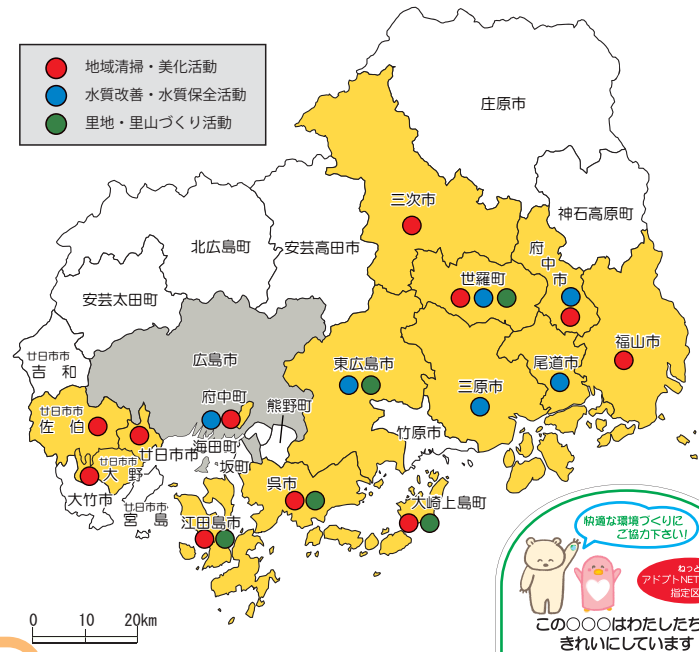
- 美化テーマの活動回数 **28**回
- 水質テーマの活動回数 **18**回
- 里山テーマの活動回数 **12**回

HPにて活動記録を公開

公衛協の広場 : <http://www.kanhokyo.or.jp/chiki/>
公衛協の活動紹介→広島発・瀬戸内海美化大作戦



- 地域清掃・美化活動
- 水質改善・水質保全活動
- 里地・里山づくり活動



定期的な活動へ アドプト制度とは...

公園や広場など、地域の公共空間を地域の里子とみなして、みんなで面倒を見ていこうという主旨で始まった制度。

環保協では、平成13年から平成22年まで重点メニューとして実施。現在は、広島発・瀬戸内海美化大作戦で継続して支援しています。申請地点には、アドプトサイン(右上)を設置します。

* 下表は、合併前の市町村公衛協の実績を含めて表記しています。単位はカ所です。

公衛協名	アドプトNETひろしま					広島発・瀬戸内海美化大作戦					合計	公衛協名	アドプトNETひろしま					広島発・瀬戸内海美化大作戦					合計
	13年度~16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度			13年度~16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
府中町	2	2			1			1		1	7	東広島市	8	17	8	1	7			1	42		
熊野町		1	2	1							4	三原市	2	2		1	1	3	1	2	1	13	
江田島市			1	1	1		2				14	世羅町	2		4	3			1	4	2	1	17
竹原市						1					1	尾道市	1			1							2
大崎上島町								2			3	福山市	7	3	1	3	5	8			3		39
大竹市	2	1	2	1	1						7	府中市	14	10	1	1	3	1	5	1	0		69
廿日市市大野										1	1	神石高原町			1								1
廿日市市佐伯					1						2	三次市	3	4	8	4	1			1			21
廿日市市宮島	1										1	庄原市	1				6	1					8
安芸太田町	1										1	呉市	17		4	6	1	3		2			33
北広島町	3					1					4	合計	66	25	62	46	37	22	15	12	7	3	295
安芸高田市	2	1			1						5												

平成26年度に向けて

- ・ 県内全体の活動実績を調査・把握し、活用していく。
- ・ 次世代に住みよい環境を残すこと、継続して自然の恩恵を享受できる環境を維持することを目指し、活動を継続する。